



入曽地区会

● Yumeプロジェクトの高校生と楽しいひと時を共有!

高校生の創造力と熱意に 大人もワクワク

8月17日(木)、さやま楽友会入曽地区会の定例会に「Yumeプロジェクト」の高校生が参加しました。Yumeプロジェクトとは、高校生の夢を大人が応援しようという目的で狭山市社会福祉協議会が募集した事業です。この高校生たちは、自分たちでカードゲームを作り、お年寄りや地域の人たちに楽しんでもらおうという素敵な活動をしています。

この日は、ひらがなのカードを5枚ずつ配り言葉を作りました。手札の中で出来なければ、山の中から1枚ずつ取ってできるまで続けます。早く手持ち札が無くなった人が勝ちです。次に数字のゲーム。2人組で、お題が「足し算」なら、同時にカードを出して暗算で先に答えを言った人の勝ち、というゲームです。出席者からは、「高校生と話すのは久しぶりだな」、「シンプルだけど考えるゲームだね」、「すごく面白かったよ」などの感想が聞かれました。そして、「ゲーム終了までに時間がかかるので、ババ抜きの手順で出来た言葉を出していったらどうだろう」、「カードにグーチョキパーの絵もあったので、負けじゃんけんなどすると面白いね」などというアドバイスも出ました。高校生たちは地区会の人たちの意見にうなずき、感謝していました。

◇ 上記は、生成AIチャットGPTで作った原稿です。みなさん、お読みになった感想はいかがですか。当日の盛り上がりや高校生たちとの新鮮な交流をお感じいただけましたか。今後は、文章で伝える苦勞を惜しまずに、なるべく自身で原稿を書いていきます。

会長 黒川昭



地区活動推進委員会報告

2023年7月28日

昨年度から各地区毎の動きが活発になってきた地区活動推進委員会。今年も奇数月の第4金曜日に委員会が開かれています。今回の委員会では、入曽地区会の毎月第3木曜日の集まりの様子や、柏原地区の第2回地区会の話し合いの様子が報告されました。また、水富地区会からは今年も水富祭出店に向けて動いていることや、堀兼・新狭山・奥富地区会からは昨年度中止になったBBQを今年こそ実施したいとの話が出ました。その他、今年は各会員の活動や得意なことを紹介できる場が設けられると良い等の話題も出ました。

そんな中、今年の新しい取り組みとして、地区ごとのスマホ講座開催についても話し合われました。楽友会所属クラブのデジタル仲間の会会員が講師となる「シニア向け出前スマホ講座」です。簡単なスマホ操作の基本や狭山市行政サービスの活用方法など、暮らしに役立つ講座を目指します。ご自身のスマホを使って、地区毎に出前します。11~12月頃、場所は各地区の公民館等で2時間×2回の講座です。すべての地区を今年中に行うのは難しいと思いますが、いくつかの地区で実施する予定です。詳しいことは決まり次第お知らせします。

今年は、こうした会員同士の得意分野を活用し、互いに助け合ったり、楽しみ合ったりできる活動が増えていくと良いですね。

● 『生成AI』との会話 ●

この頃「命を守る行動をとるように！」とのアナウンスが多い。異常気象からの被害が多く発生しているし、身近で困るのが35度超えの猛暑。これらは日本だけでなく世界的、いわゆる地球規模で起こっており、地球の寿命も短いかも……？ 吾も命は惜しいので日中の徘徊を止め、夜明け頃の巡回コースに変更した。

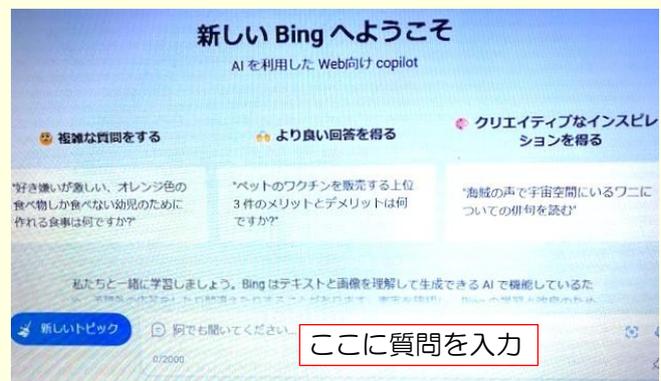
それで日中涼しい部屋で昼寝！ではなく“お勉強”をしている(?)のだ……。それがいま話題の“生成AI”。最近ChatGPTの採用可否や危険性などの功罪ニュースが広まったので、吾も野次馬根性で苦勞してそのブラウザにたどり着いた。その過程でこの「生成AI」に限らず様々な分野での“AI化”が進んでいることに気が付いた。

- 音声の自動文字起こし (Fireflies)
- 文章作成を手助けしてくれる (GhostWryter)
- 営業部が活用すると戦力になる (RegieAI)
- 社名などを表すロゴマークを作り (Looks)
- 画像生成AI…画家などの持つ“知的財産権”を侵害する可能性ある！
- 等々

試してみたのが、ChatGPTとBingAI。何れも質問すると直ぐ答が表示される。驚きだ。二つの「AI」と会話していると、老人の“ボケ症状”のカバーに使いそう。だが、お盆にお墓参りに帰郷するからと思い、混雑しない日や安く行けるルート等を聞いたら、一般的な当たり障りのない答で、今から先の具体的な調査を要する案件には向いていない感じがした。もっと大きく地球の危機(温暖化、大気汚染の進行や侵略戦争から核戦争へのリスク)の対処を聞いたら、4項目の取り組むべき課題が出てきた。これをヒントにレポートが書けそう。

更に、人生100年時代の高齢者が処すべき事を聞いたら……①食生活、②運動、③ストレス管理、④社会的なつながり、⑤診断と予防、⑥喫煙と飲酒の制限、⑦安全対策、⑧脳トレ、⑨健康チェック……など、日頃よく言われている項目が出た。このアドバイスは100歳まで健康で生きるために役立つ可能性があるが、個人の健康状態に応じてアプローチを調整することが重要だ。更に、「定期的な健康診断を受け、医師や専門家のアドバイスを仰ぎながら楽しい人生を送られることを願っています！」との注釈付き回答だった。

現在の状況からは、新規参入も含めて各社ますます開発競争に励むことだろう。功罪は色々と有るのだろうがこの流れは止められず、有効活用した者が儲け！かもですね〜。皆さん方もお試しあれ……会話する画面はこんな感じです！



… お知らせ 犯罪被害者支援の会 オリーブ 公開講座 …

第1部 基調講演「現在の被害者支援情勢について」(講師 埼玉県警犯罪被害者支援室佐藤春香氏)

第2部 生バンド演奏「アガペー」(「上を向いて歩こう」他 ※ 体操や紙芝居なども予定)

日時：2023年9月16日(土) 11:00~12:40 場所：中央公民館 第2ホール

※ 詳しくはNewsと一緒にメールに添付されたチラシをご覧ください。